



県道飯能寄居線の柳橋（長瀬地内）
昭和37年ごろ（飯能県土整備事務所提供）

県道飯能寄居線、大谷木川にかかる柳橋が完成したころの写真です。当時の道幅は、現在とそれほど変わりはありませんが、道路がまだ舗装されておらず、年代を感じさせられます。

現在の風景



募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

カッコウ

カッコウは、夏鳥に分類される鳥で、日本には5月ごろやってきて、主に山地に生息します。野山でカッコウの独特の鳴き声を聞いた人も少なくないと思われます。



カッコウは、托卵をする鳥としても有名です。托卵とは、ほかの鳥の巣に自らの卵を産みつけ、その鳥にヒナを育てさせる行為を言います。卵から孵化したヒナは、まだ孵化していないほかの卵やほかの鳥のヒナをその巣の外に放り出し、自らをほかの鳥に育てさせます。親鳥となった鳥は、カッコウのヒナにえさを与え、育てることになってしまいます。

カッコウの独特な鳴き声は、昔から人びとに親しまれていました。ヨーロッパでは、音楽にその鳴き声が入り入れられました。『おもちゃの交響曲』やベートーベンの『交響曲第6番へ長調作品68田園』がその代表的な曲です。また、日本では、カッコウは別名「閑古鳥」といわれ、寂しい様子の例えとして用いられました。寂しい様子を表す言葉で「閑古鳥が鳴く」という言葉がありますが、これは、昔の日本人がカッコウの鳴き声に寂しさを感じていたためであると言われていました。カッコウの鳴き声は聞く人の心情によってさまざまに聞こえるものなのかもしれません。

さて、青葉茂り、野山を散策するのも心地よい季節になってきました。カッコウの鳴き声がかきこえたら、ふと足を止め、その声に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



皆さんもうお気づきのことと思いますが、この4月より「広報もろやま」の表紙や裏表紙のレイアウトを変えました。新年度を迎えて、リニューアルしてみたのですが、いかがでしょうか？ 今後も皆さまが読みやすい広報紙を発行するために努力と工夫をしていきたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。(1)

わがやのアイドル



ふなつ しょうた
船津 翔大くん
(5歳1か月)

翔大は、この春保育園に入園しました☆新しいお友達も出来て、毎日楽しく通園しています♪ 気が優しくて世話好きなしょうたん♡ お友達と仲良く、のびのびと育ってね♡



こやの みずき
小谷野 瑞希ちゃん
(3歳)

みずは、我が家のアイドル♡ 少し照れ屋で人見知りしちゃうけど、本当はとても明るく元気な子。歌ったり、踊ったりするのが大好き。いつも笑顔をありがとう♡

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
申・問 役場秘書広報課 ☎(295) 2112 内線 332

人口 36,784人 (+5人)
【男 18,309人 (-8人) 女 18,475人 (+13人)】
世帯 15,772戸 (+59戸)
※平成22年5月1日現在(カッコ)内は前月比

口 広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。